



ご挨拶

がん患者会・サロン ネットワークみやぎ

代表 吉田 久美子

2020年初頭より始まった新型コロナウイルス感染拡大問題は、そろそろ3年になります。

感染の不安から引きこもり、大人のフレイルが問題になっていますが、最近では子供のフレイルも課題となっているようです。

体にワクチンが必要なように、心にもワクチンが必要だとのお話を先日お聞きし、健康の定義は体、心、人とのつながりが大切なこと、人と人が普通に出会ってきたことが、本当はかけがえのないことだったと今更ながら感じています。

そのような中、病院、医療関係の皆様には本当にご苦勞を重ね診療にあたって下さっておられることに心から感謝申し上げます。

さて2015年に設立した「がん患者会・サロンネットワークみやぎ」はこの秋で、まる7年になりこれより8年目に向かって参ります。加入している患者団体は、様々な課題を抱え直接の出会いが制限される中でも、今年に入り人数を制限しての対面の患者会やZoomやラインを利用して患者会が開催されるようになりました。

ネットワークでも昨年の11月はオンラインで「がん患者とのコミュニケーション「寄り添い方」について」研修会を実施いたしました。更に今年度8月5日に加入団体の代表者、担当者の交流会を開催し、オンラインにてコロナ禍での活動状況について情報交換を行いました。

この度、がん患者会・サロンネットワークみやぎの2021年度の活動のまとめ、2022年度の活動計画を作成することができました。

これまでのご支援、ご厚意に心から感謝申し上げますとともに、コロナ禍の中にあっても出来ることを皆さまと共に考えながら進めて参ります。

今後とも皆さまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

2022年9月